

① 実態把握シート

J 班

学校の課題

学習意欲の向上

好き ← 分かる

学びの意欲
さほど少ない

6年生以上は、学習意欲が低い傾向がある

学習意欲が低い

みんなが学ぶという意識が弱い

子どもが学ぶための環境がない

多様な考えを持つこと
機会が少ない？

考えを述べるが、多岐にわたる意見に発言が苦手

考えを述べる

学び合いの場の設定が上手でない
話し合いが弱い

国A(基礎)全般でマインド(強みあり)

国B(活用)が弱い

「読むこと」が特に弱い
(A・B共通)

「読むこと」×
人物の相互関係 月次索引

④ 音を求める ○

作図 ○

割合を求める ○

整数の四則計算
混合が多い

⑤ 公倍数の把握 △

△ 基礎的

国語科において
基礎的・基本的な力
活用力が弱い

立場を明確にして
自分の意見と並べ替えて
その意見を述べていく

① 情報をとらえて
整理して書く

② 情報整理し、
前向きな考え、小人数

③ 情報整理し、
言語化

④ 情報整理し、
言語化

⑤ 情報整理し、
言語化

「書くこと」×
自分の考え、意見整理

整理して
書く力が弱い

課題をまとめると...

話す、書くの活動を取り入れると共に 学び合いの場を
積極的に取り入れた授業改善が必要である。

研究主題 学び合い 高め合う子の育成

研究教科 小学校:国語・算数 中学校:全教科

学んだこと(学び合い) 目指す子供の姿	目指す授業像
<ul style="list-style-type: none"> 課題に手取で関わりあっている子 自分の考えを根拠や筋道を明確にし、書いたり話したりしている子 友達とかがかり合いながら学びを深める子 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が意欲を持って自分達で話し合い、学びを深める授業 考えを根拠や筋道を明確にし、書いたり話したりしている場面がある授業 子ども達同士が話し合い、学びを深める授業

研究の重点(柱) 2つ~3つ

- A 授業改善
- B 支持的・親和的学級づくり
- C 個に応じた基礎基本の充実

A: 授業改善の視点(3つ程度)

- ① 課題設定の工夫
- ② 根拠や筋道を明確にして書いたり話したりする場面の設定
- ③ 効果的な学び合いの工夫

※以下は、上記の重点A:「授業改善の視点」の中から1つまたは2つ選び検討してください。

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て

3番

- ・ねらいを明確にした10分グループ学習の活用
- ・寄り添いや深め等教師の発問

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て

2番

- ・途中解でも発表させ、つないでいく
- ・発表前に考えを書く時間の保障

③ 計画シート

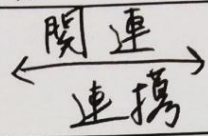
J 班

「学級カレ」

「学級カレ」

「学級カレ」

月	内容	
4月	研究方針の提案	目指す授業像の共通理解
5月	模擬授業	研究授業
6月	各年で行う	
7月	検証	
8月		
9月		
10月	要請訪問	授業交流
11月		
12月		
1月	検証	
2月	授業交流	
3月		



学力向上プランの策定

学力調査の自校採点

学力調査の結果分析

学力向上プランの見直し

学力向上問題

学力向上プランの見直し

次年度の計画

学力調査問題の出題傾向の把握

Q-U

Q-U